

あなたもお読みください

しんぶん 赤旗

日刊●月2,900円
日曜版●月 800円

市民ニュース

日本共産党鎌倉市議員団

2010年1月号

発行 日本共産党鎌倉市議員団

鎌倉市御成町18-10

TEL23-3000 FAX24-3401

http://www.jcp-kamakura.jp/

メール info@jcp-kamakura.jp.

12月2日から18日まで12月定例議会が行われました。松尾市長初めての議会です。高野議員が「行財政運営について」「まちづくり」について、吉岡議員が「経済情勢を反映した生活支援について」「ゴミ問題につ

いて」市長の政治姿勢を質しました。また、今議会で、党議員団も求めていた岡本2丁目マンション問題で裁判の「補助参加取り下げ」について市長から報告がありました。（詳しくは裏面を参照ください）

市民のくらしを守る あたたかい市政を



吉岡 和江 赤松 正博 小田嶋 敏浩 高野 洋一

昨年は市議選をはじめ、市長、衆院、参院補選と選挙が連続し、国政でも市政でも大きく変化する新しい政治情勢の中で、新年を迎えました。「政治を変えたい」という国民の世論とたたかいは、自民公明政権を退場に追い込みました。鎌倉でも、無党派、若さ、「クリーン」でしがらみのない政治」を標榜した新市政が生まれました。しかし、新政権、新市長の政策には、市民・国民の要求を反映した前向きな要素がある一方、問題点も多く存在しています。日本共産党は、国政でも市政でも「政治を変えたい」というみなさんと力をあわせ、要求実現に取り組み、「良いことには協力し、悪いことには反対、問題点はただす」という建設的立場で臨み、積極的提案で前に進めるために全力をつくします。今年は夏に参院選が行われます。必ず前進を勝ち取り、政治を大きく前に進めたいと決意しています。皆さんのご支援を心よりお願いいたします。

市民と力をあわせ建設的立場で市政をすすめます

世界遺産作文コンクール 市議会本会議場で表彰式



赤松正博議員

世界遺産登録をめざす中学生作文コンクール表彰式が十二月十二日、議会本会議場で開かれました。応募作品は約五六〇点にのぼり、中学生の鎌倉の歴史や文化に寄せる関心の高さがうかがえます。市議会では改選後「開かれた議会づくり」が課題になり、その一環として「議場の開放」を行うこととし、このたび第一号となったものです。表彰式で市議会を代表して挨拶した赤松議長は、「鎌倉の歴史、文化、まちづくりへの思いや提案を沢山寄せてくださり大変嬉しく思います。世界遺産やまちづくり

市費負担教員の加配 を求める陳情を議員 の多数で採択

に生かしていきたいと思えます」と話しました。市教育委員会は、算数などの特定教科について、クラスを分けて学習する少人数指導の加配教員を少人数学級の担任に配置できる制度を活用し、一・二学年で一クラス三十五人以下の学級編成を実施しています。そして、市費負担で非常勤講師を採用・配置して、小学校三年生以上に少人数指導を行っています。今後、少人数学級を拡大するためには県費教員の加配が必要ですが、当面、小学三年から六年までで、一クラス三十五人を超える学年のある学校には一名の非常勤講師の加配を求める陳情が多数で採択されました。党議員団は、今後も少人数学級の拡大に取り組みしていきます。

細菌性髄膜炎を予防する ワクチンの早期定期予防 接種化を求める意見書

細菌性髄膜炎は早期診断が難しく、治療に有効な抗生物質も耐性化が進み、適切な治療が出来にくくなっています。原因菌のインフルエンザb型（ヒブ）で三%から五%、肺炎球菌で十%から十五%の乳幼児が死亡しています。また、生存した場合も十%から二十%が脳と神経に重大な損傷が生じ、水頭症、難聴、脳症、麻痺、精神遅滞が生じています。接種は原因菌それぞれで四回ずつ接種が必要ですが、任意接種のため、一回八千円もかかり、高額な負担になります。「ヒブワクチン」の予防接種法による定期接種と肺炎球菌ワクチン（七価ワクチン）についても発売後、速や

採択された意見書

障害者自立支援法の 負担の廃止を求める 意見書

かに定期接種化することを国に求めるものです。障害者自立支援法施行から三年。福祉サービスや自立支援医療に導入された原則一割負担は障害者や家族に重い負担が課せられ、不安の声が上がっています。施設に支払われる報酬も月払いから、日額払いとなり、施設や事業所の経営が苦しくなっています。意見書は、国連の「障害者権利条約」を踏まえ、総合的な福祉政策を確立するとともに、利用料の応益負担を早期に廃止し、応益負担に戻すよう国に求めるものです。その他、市議会では、改正貸金業法の早期完全実施等を求める意見書が全会一致で採択されました。